

東北大学交響楽団

第165回定期演奏会

指揮 高橋 信雄（当団副指揮者）

福島県出身。1983年、東北大学交響楽団に入団。学生時代はフルート首席奏者として活躍。1988年より当団練習指揮者となり、定期演奏会のための指導に尽力。海外から大家を客演として招聘した際には、通訳兼アシスタントを引き受けながら研鑽を積んだ。2007年、全団員から推挙され当団副指揮者に就任した。

現在、当団音楽顧問の菊地健夫氏が組織し音楽監督を務める「木の家合奏団」に所属し、菊地氏から指揮法を含む音楽全般について指導を受けている。

2011年3月11日の東日本大震災後、ルネサンス期のイギリスの作曲家、ウィリアム・バードのミサ曲をもとにした「追悼曲」を作曲し、震災の犠牲者の御霊に捧げている。

東北大学交響楽団

東北大学交響楽団は1921年に発足し、大学オーケストラとしては日本有数の長い伝統を持つ。1949年のベートーヴェンの交響曲第九番東北初演や、1959年のブラームスの交響曲第一番仙台初演など、積極的な活動を続けて来た。

年2回の定期演奏会と大学公式行事での演奏を活動の中心に据え、これまで国内外から著名な指揮者・ソリストを招き、常に音楽性の高いコンサートを目指してきた。

2012年10月には、宮城県立山元支援学校主催の「東日本大震災、やまようコンサート…希望の種をまこう…」に出演。今年6月の第160回定期演奏会では東日本大震災の犠牲者への鎮魂、震災からの復興へ向けてヴェルディの「レクイエム」を演奏するなど、地域に根差した活動も行っている。

交通案内

- 市営バス 仙台駅前9番乗り場より「宮教大・青葉台行」または「動物公園循環」に乗り、「東北大川内キャンパス・萩ホール前」下車（乗車15分）、徒歩3分
- 演奏会終了後、仙台駅直行臨時バス（無料）を運行いたします。

・当日は混雑が予想されますので、お早めにご来場ください。
・乳幼児など、就学前のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。

